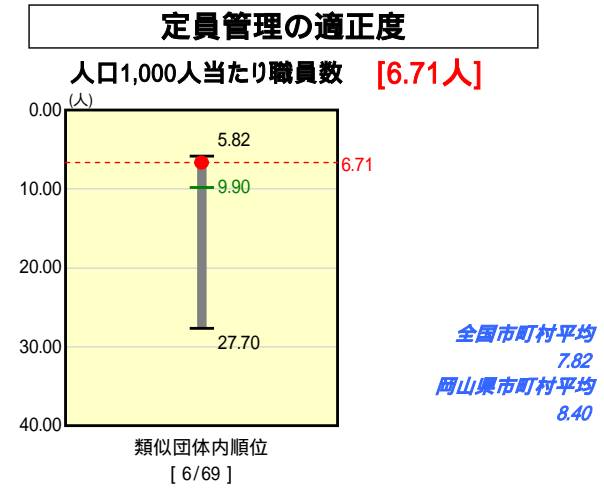
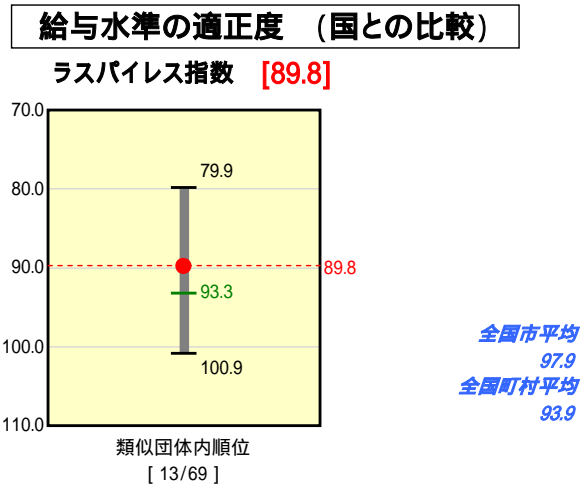
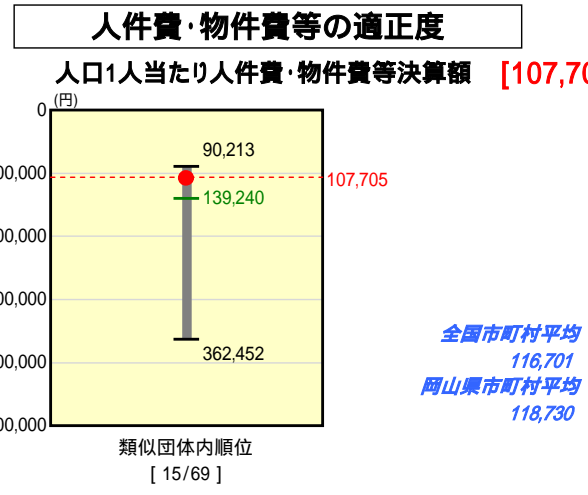
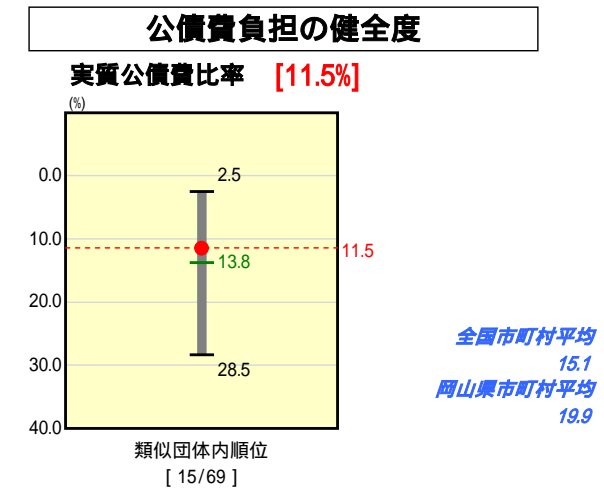
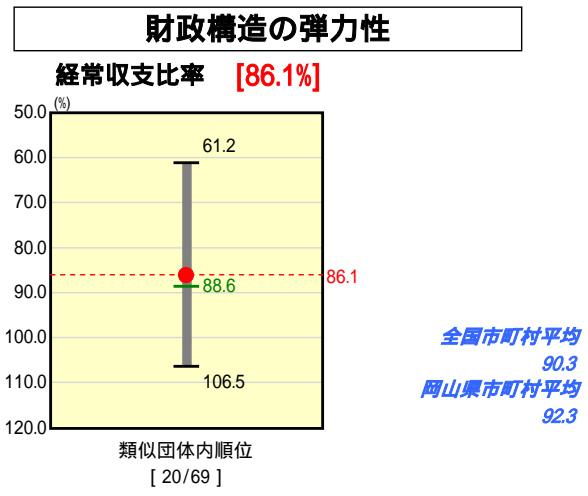
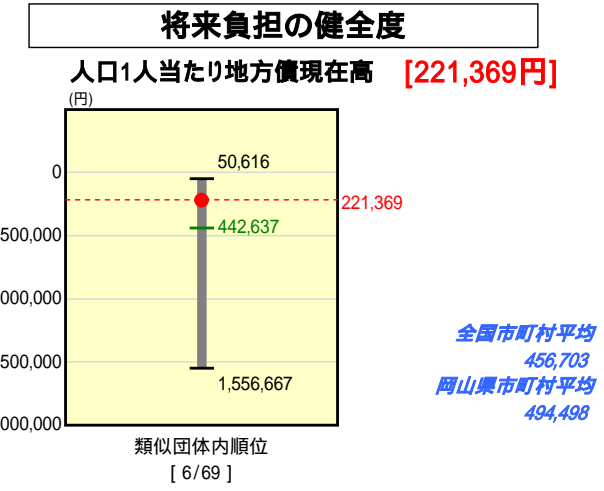
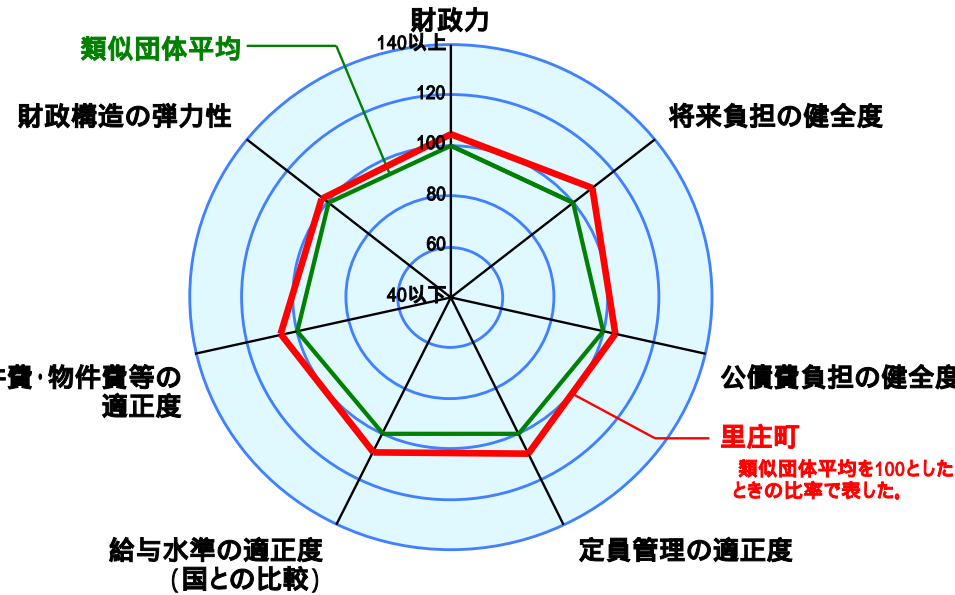
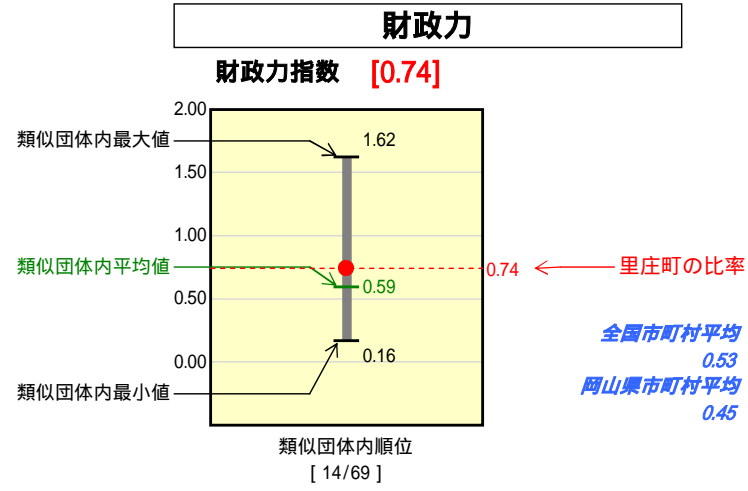


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岡山県 里庄町

人口	11,028人	(H19.3.31現在)
面積	12.23	km ²
歳入総額	4,014,567	千円
歳出総額	3,584,084	千円
実質収支	411,815	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数：企業の立地により法人町民税をはじめ税収が多く、これにより財政力指数は類似団体平均を上回っている。

経常収支比率：公債費、繰出金の増加により1.1%上昇したが、依然86.1%と類似団体平均を下回っている。今後も町主要事業(町道新設改良事業、総合運動公園整備事業、公共下水道事業)推進により公債費、特別会計への繰出金の増加が見込まれるため、集中改革プランに掲げたとおり行財政改革への取組を通じて経常的経費の削減に努め、現在の水準維持に努める。

ラスバイレス指数：89.8%と類似団体平均を下回っている。今後も集中改革プランに基づき給与水準の適正化に努める。

実質公債費比率：旧来から起債を抑制し、可能な限り自主財源で事業を実施してきた結果、現在の数値となっている。今後は町主要事業、特に公共下水道事業に係る起債の償還に伴い上昇していく見込みである。

人口1人当たりの地方債現在高：類似団体平均を大幅に下回っているが、現在推進している町主要事業に係る地方債発行により当面は上昇する見込みである。このことから、他事業における地方債の発行は抑制し類似団体平均を上回ることがないよう努める。

人口1,000人当たり職員数：類似団体平均を下回っており、集中改革プランに掲げる職員数(平成22年4月1日で83人)達成を目指す。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均と比較して適正度が低いのは、主に人件費が要因となっている。これは「人口1,000人当たり職員数」、「ラスバイレス指数」をみてもわかるように、職員数が少なく、給与水準も抑えられているからである。しかし、物件費については歳出総額に占める割合が16.4%と高くなっているため、今後は委託業務内容の評価を行うとともに見直しを図るなど、委託料の削減を図る。